

原則

- 術中所見によって、ヘルニア門の位置と大きさに基づいて分類する。
- ヘルニア門の大きさは成人の1横指 = 1.5cm として測定する。
- 鼠径部アプローチと腹腔鏡下アプローチのいずれにも適用する。
- L= lateral, M= medial, F= femoral とする。

L型ヘルニア

下腹壁動静脈の外側で
内鼠径輪から脱出するヘルニア

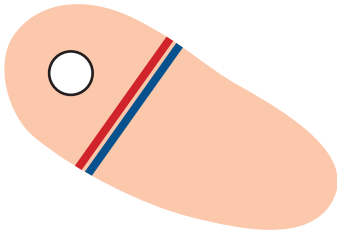
M型ヘルニア

下腹壁動静脈の内側で
鼠径管後壁から脱出するヘルニア

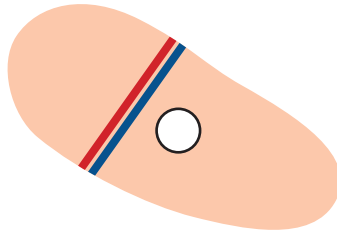
F型ヘルニア

大腿輪から脱出するヘルニア

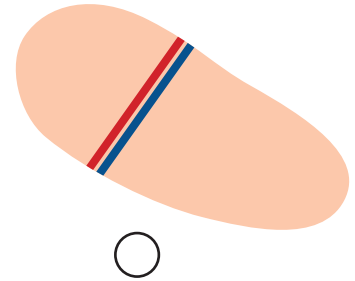
L1型



M1型

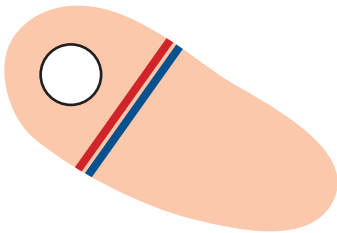


F1型

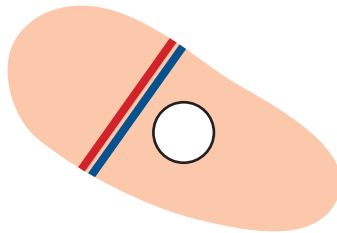


※ ヘルニア門が1.5cm未満、または人差し指の先端で1横指未満

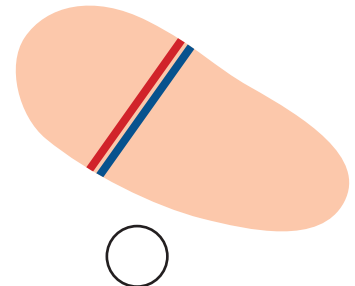
L2型



M2型

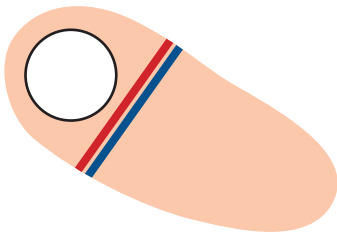


F2型

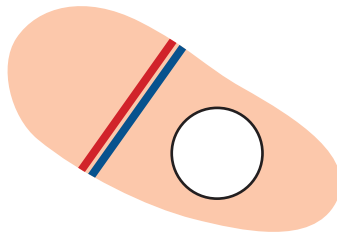


※ ヘルニア門が1.5cm以上3.0cm未満、または1横指以上2横指未満

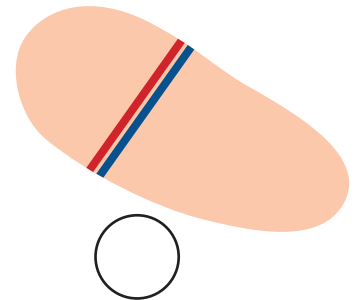
L3型



M3型



F3型



※ ヘルニア門が3.0cm以上、または2横指以上

併存型

L型、M型、F型のうち、2つ以上が併存したヘルニア
併存するヘルニアをL1-3型、M1-3型、F1-3型の中から選択
(標記の順序は不問)

特殊型

L型、M型、F型に属さない
鼠径部に発生する特殊なヘルニア

再発：再発は初発鼠径部ヘルニア分類に従う。初めにR(再発回数によって R1、R2...)と記載する。

内膀胱上(窩)ヘルニア、スピゲリアンヘルニア、閉鎖孔ヘルニア、スポーツヘルニアは鼠径部ヘルニア分類に含まない。

2021年版 鼠径部ヘルニア分類(新 JHS 分類)

原則

- 術中所見によって、ヘルニア門の位置と大きさに基づいて分類する。
- ヘルニア門の大きさは成人の1横指 = 1.5cm として測定する。
- 鼠径部アプローチと腹腔鏡下アプローチのいずれにも適用する。
- L = lateral, M = medial, F = femoral とする。

L 型: 間接(外)鼠径ヘルニア 下腹壁動静脈の外側で、内鼠径輪から脱出するヘルニア

L 1 型: 間接(外)鼠径ヘルニア(軽度)

ヘルニア門が 1.5cm 未満、または、人差し指の先端で1横指未満

L 2 型: 間接(外)鼠径ヘルニア(中等度)

ヘルニア門が 1.5cm 以上 3.0cm 未満、または、1横指以上2横指未満

L 3 型: 間接(外)鼠径ヘルニア(高度)

ヘルニア門が 3.0cm 以上、または、2横指以上

M 型: 直接(内)鼠径ヘルニア 下腹壁動静脈の内側で、鼠径管後壁から脱出するヘルニア

M 1 型: 直接(内)鼠径ヘルニア(軽度)

ヘルニア門が 1.5cm 未満、または、人差し指の先端で1横指未満

M 2 型: 直接(内)鼠径ヘルニア(中等度)

ヘルニア門が 1.5cm 以上 3.0cm 未満、または、1横指以上2横指未満

M 3 型: 直接(内)鼠径ヘルニア(高度)

ヘルニア門が 3.0cm 以上、または、2横指以上

F 型: 大腿ヘルニア 大腿輪から脱出するヘルニア

F 1 型: 大腿ヘルニア(軽度)

ヘルニア門が 1.5cm 未満、または、人差し指の先端で1横指未満

F 2 型: 大腿ヘルニア(中等度)

ヘルニア門が 1.5cm 以上 3.0cm 未満、または、1横指以上2横指未満

F 3 型: 大腿ヘルニア(高度)

ヘルニア門が 3.0cm 以上、または、2横指以上

併存型: L 型、M 型、F 型のうち、2つ以上のヘルニアが併存した場合

併存するヘルニアを L 1-3 型、M 1-3 型、F 1-3 型の中から選択する

特殊型: L 型、M 型、F 型 に属さない鼠径部に発生する特殊なヘルニア

再発: 初発ヘルニア分類に従う。初めに R(再発回数によって R1、R2・・・)と記載する